



参加費無料

2017年12月22日(金)

午後1時30分～6時

大地に抱かれる  
縄文式竪穴住居は  
「大地の子宮」  
「生命の生まれ育まれる場」

ここに座ると  
悠久の時を超えて  
縄文の心に感応！

☼ 縄文冬至まつり  
「縄文大地の気場庵」は  
冬至の日没の太陽の光  
が入口から入り炉の中心  
に射し込みます。  
1年中で最も弱まった  
太陽を縄文穴居の子宮  
に抱き込み太陽の復活  
を祈ります。



猪風来美術館の広場に縄文式  
竪穴住居「大地の気場庵」が  
完成しました。

昨秋よりの茅の収集、春の  
木材の切り出し・皮むき、夏  
炎天下の茅葺きなどの作業に  
延べ235人の方々のご協力が  
あり、また資材や道具の提供、  
お志などが寄せられました。

熱く感謝申し上げます！  
(この竪穴住居づくりは(財)福武教育  
文化財団の助成を受けています)



第一部 13:30～15:00 創作館にて

松本直子講演会『縄文の住居・ムラ・世界観』

(講演終了後質問・ディスカッションタイムあり)

松本直子氏(岡山大学考古学研究室教授)

縄文社会を主なフィールドとして認知考古学およびジェンダー  
考古学の視点から研究をすすめています。考古学の新たな視点  
から縄文の心に迫るトップランナーです。

第二部 15:10頃～ 「縄文大地の気場庵」前広場にて

- 1 火おこしと冬至の日の入り迎いの儀式
- 2 穴居の火を広場の炉や篝火に点火  
縄文太鼓の演奏(乙倉 俊)・祈りの女舞
- 3 楽器や舞が加わりセッション  
参加者皆で大地を踏むラウンドダンス

第三部 16:30頃～

創作館にて

懇親懇談会

(会食と飲み物)

差し入れ大歓迎！

暖かい服装でお越しください！